伯西剌爾時報

發行所 伯西剌爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
社長 黒石清作
購讀料 一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓

珈琲 サントス四級 十キロ 二二五〇〇 リオ七級 一六、〇〇〇

爲替 對日 四、六七〇 郷里送金 五、六七〇 對米 一九、七十〇 對英 八〇、〇五〇

帝國の行動推邪

英・米・濠・蘭

日本南進の幻影に喘ぐ

マレー水域機雷で防衛

泰國境へ英の大軍集結

【東京十七日同盟】東亞に於ける國際情勢は、泰と佛印の媾和會議を一契機としし險惡化を傳へられてゐるが、之は要するに日本の南進の聲に怯ゆる英米オランダ濠洲諸國の恐日病的デエスチュアに因るものである、昨十六日英海軍省當局はシンガポール海峽東方入口を中心とするマレー水域一帶に機雷を敷設する旨發表したが、之も帝國の南進の幻影に怯える悲壯な焦慮の現れに過ぎない、

今回の機雷敷設水域は北は北緯二度四十分、東は東經百四度三十分、南は北緯一度卅五分、西は馬來半島海岸線を以て囲められた區域を指示してゐる

英海軍シンガポール當局は、既に一九三九年九月三日、英國の獨逸宣戰の直後九月八日シンガポールの東方水域及び西方シンガポール港入口に機雷敷設した旨發表したが當時は專ら獨大戰當時活躍したエムデン號的巡艦の蹤跡に備へたものであった

然るに今次の機雷敷設は、既設機雷原水域を擴大強化したものであり、明らかに日本の南進に備へたものに他ならない、即ち北緯二度四十分、東經百四度三十分と云ふのは、馬來半島東岸最南端より北へ約百哩、ジョホール州とパハン州の州境スンダウ神谷のチョコン島附近に到る水域で、南北緯一度三十五分はシンガポール郊外の島嶼ビンタル群島を（シンガポールより七、八哩で指呼の内に在る）根據する全水域を意味し、ワシントンに於て英、米、オランダ、濠洲代表會議の傳へられる折柄、英國、オランダ秘密共同防衛の立場より蘭印側へも領海内に水雷敷設を強要したものと見られる

今次の機雷敷設擴大は要するにマレー半島南方東岸水域を新たに機雷敷とした事で、明らかに日本に對する備へと見られる

この他最近英當局は、泰國境に陸軍大部隊を集結し、泰領に對して虎視眈々としてゐるが、之は泰と佛印媾和會議の結果に於ける日本の動向を邪推して、日本の出様如何に依つては一擧南部泰領に侵入、馬來半島及びシンガポールの安全性を確保し、先手を打たんとする意圖と見らるべきで、去る十二日、英極東軍司令部は英軍ブレンハイム爆撃機編隊を英領マレー北部に移動した旨發表、その後シンガポール駐屯英軍航空隊爆撃機編隊も北部方面に配置された事が判明したが、これも英國が泰に推からする日本の南下を抑壓せんとするもので、此等艦隊機隊は東部國境のコタバル市外の軍用飛行場及び西部のアロスター市軍用飛行場及び馬來一ヶ所秘密裡に構築された國境飛行場等に集結されたものと見るべきである、飛機數は發表されてゐないが、從來シンガポールの空軍は劣勢で、來援の濠洲空軍も數部隊であり、マレーに於ける空軍が劣弱である事は事實で、殊更に空軍の動き其他重要軍機を臨面もなく發表してゐる事は、マレー半島民の動搖を防ぐと云ふよりも寧ろ自己の劣弱なカモフラージュする爲めの日本に對する威嚇と見るべきであらう

駐日アゼンチン初代大使

我陛下に謁見賜はる

【東京十七日同盟】アルゼンチン公使が今度大使に昇格したので、同國初代大使ロドレフオ・モレモ氏は來る二十日、天皇陛下に謁見を仰付られ、大使の銀盃捧呈を擧行する

時の言葉

東亞共榮圏確保のため帝國の南進意圖は不退轉のものだ、それは飽迄平和的であり經濟的であり、共存共榮的のものである。これは正々堂々天地に俯仰して恥ぢないものであるのに敢てこれを阻止せんとする蘭印當局の意想も不可解であるが、背後にある英米が露骨にこれを援つてゐる事實を見逃すことは出來ない

帝國艦隊は今やハイフオンに或は○○に待機、命令一下出動の態勢にあるものゝ如くである。此等の艦隊が何れへ向ひ如何なる作戰行動に出るかは軍の機密であつて容易に推測を許されないが、蘭印或ひはシンガポール方面へ向ふであらうとの豫想も強ち荒唐無稽なものとは斷ぜられない

英、濠、蘭三國では帝國の武力南進今や迫れりとなし急遽マレー方面廣域な海上に亘つて機雷を敷設、其他の警備に空軍力の擴充を行ふ等、寧ろその狼狽振りこそ見物である。何れにしても帝國艦隊が驚くべき南方の港に待機してゐるとの報道は全く誤報とは思はれない、或ひは乾坤一擲シンガポール攻撃を開始するやも計り難い。

就中ラン印攻撃の可能性は全然に否定出來ないものであらう。

我艦艇滿持して待機

今や險惡世界情勢は新たなる段階に入らんとしてゐるとりわけ南西太平洋上に風雲極めて急なる秋堂々舳艫相啣み○○に威容示す帝國艦隊

英米艦隊共同

シンガポールの防備固む

【倫敦十七日發】（UP電）【重慶十六日發】（ロイター電）デリーニュース紙の報道に依れば、日本軍大部隊は海南島、廣東、佛印方面より東洋のジブラルタルにも比べきシンガポール攻撃に備へ英米兩國艦隊は共同して東洋のジブラルタルにも比べきシンガポール攻撃に備へ英米兩國艦隊は共同して東洋のジブラルタルにも比べきすべき堅壁の防備陣を布いたと

日本軍ハイフオンへ續々集結

サイゴン攻撃の態勢

【倫敦十六日發】（ロイター電）當地政界方面の觀測では蘭印當局は潜水艦隊と共同作戰のもとに、近く猛然に英本土を攻撃するであらう、また潜水艦の本土封鎖のため目覺ましい活躍が開始されるものと見られてゐる

下台灣基地に待機中と謂はれてゐる、右の情報に對し米國としては日本軍と一戰を交ふるの意圖なく、唯日本へ の圧迫封鎖の手段により戰争を行ふのみであると

グワム島防備案

米議會を通過か

四億弗の追加豫算要求

【華盛頓十五日同盟】ルーズベルト大統領は去る十二日議會に於てグワム、サモア兩島防衛費を含む約四億弗の海軍追加豫算を要求したが、下院海軍委員會は十五日委員會秘密會議で審議の結果、若干の修正を加へて同案を可決した、委員會が僅一日の審議で之を可決した事から見て、過去數次に亘り否決されたグワム島防備案は議會通過の可能性が濃厚となつたと看做される

獨空軍潜艦

英本土猛襲か

【倫敦十六日發】（ロイター電）當地政界方面の觀測では獨空軍は潜水艦隊と共同作戰のもとに、近く猛然に英本土を攻撃するであらう、また潜水艦の本土封鎖のため目覺ましい活躍が開始されるものと見られてゐる

英・支軍事同盟成立?

【東京十六日發】（U.P電所報）英蘇ソと重慶政府との間に軍事同盟成立したと謂はれるが、目的はシンガポール重慶間を通ずる滇緬シンガポールルート強化の爲と見られてゐるが、一方ビルマルートによる援助增强に對し或條件を協定したとも謂はれてる

【東京十六日發】（UP電所報）露領より蘭印に達せる報

蔣は嘯く

重慶はいつまで戰ふ（上）

支那兵は折れない竹

「私の統率してゐる軍隊は雪の積つた竹のやうに曲ります。併し中々折れません」と神經質的な表情を露骨に泛べて、將は嘯いてゐる。

元來共產軍巨頭毛澤東の持論「三段階の長期戰」を賣ひ受けて、自己の作戰理論とし抗日軍を編ひ立てゝゐる將である。その理論といふのは、第一期、日本軍側の攻撃、支那側の退却

第二期、日本軍側の攻撃は西部支那の山岳に集中し、次第に戰鬪力消耗す、支那側の動員は依然として繼續され、こゝに兩軍無勝負の段階に到達する

第三期、日本側の國內國際間の紛爭はその極に達す、この機を利用して、支那側は

日・蘭印通商交渉

十七日より再開

【バタビヤ十六日發】（ロイター電所報）日蘭印通商に關する交渉は十七日より再開さ れる筈

砂糖輸出の船舶不足

比島が米國船借入運動

【マニラ十五日同盟】比島甘蔗搾糖業者、砂糖製造業者共同委員會は米國向け砂糖輸出の船舶不足緩和の爲、米政府に軍艦輸送船使用許可方の運動を始めた

◇◇

飽迄非違通さんとせば

我、米と堂々雌雄決せん

野村會談に付都新聞社說

【東京十七日同盟】野村大使とルーズベルト大統領との會見に關し、都新聞は社說に於て、左の如く論じた

日米間に難問題が横たはれる今日、兩氏の會談に依つて容易とは豫期せられざるも、我等は野村大使に率直なる態度を以て一層活躍せん事を望み、併せて米國官民は更に胸襟を開かん事を切望する、我國民は米國の態度に對し非常なる不快を感じて居るは事實である、米國が飽く迄其の非を通して東洋の平和を攪亂せんとするに於ては、我國民は何の躊躇なく其の敵國として堂々雌雄を決するのみである

有題無題

◆國夏の樂園であるマイアミには、鰐近ギャングの橫行で盛んに恐怖の的となつてゐるが、十五日某百万長者は自動車で富場へ向け疾走中ギャングに襲はれ二十万弗の所持金を强奪されたが、海水浴場・ホテル等には金剛寶石類の强奪が頻々と行はれてゐる

◆ソ國、ソ那在住英國人に總引揚命令が出たので、上海渡航止揚げ命令が出たので、上海渡航止揚には、英人九千人、米人千七百人が押掛け大混亂を呈してゐる

◆東京、大阪、横濱、神戸各市駐在米國總領事は、十五日再び在日米人に大至急引揚げ方を通告した

昭和十六年度總豫算

百十七億圓

貴衆兩院通過茲に成立

【東京十五日同盟】十五日の貴族院本會議は午前十時十二分開會、直ちに日程に入り十六年度總豫算六十八億六千万円、臨時軍事費四十八億八千万円、合計二千万円に達する夫々豫算は、衆院を通過し、成立を見た、次いで

一、昭和十六年度一般會計歳出の財源に充つる爲め公債發行に關する法律案

一、昭和十五年法律第七號中改正法律案

一、昭和十三年法律第十三號中改正法律案、其他三件を可決、昭和十四年度總豫算關係案を一括議題とし、委員長報告通り承認、可決

日本軍二萬

泰國境へ派遣さる

【東京十七日發】（UP電所報）バンコック駐在東日特派員よりの報道によれば、ビルマ泰國境に英軍の集結に對し、約二万の日本軍も同方面へ派遣されたと

上海爲替

【上海十二日同盟】當日引渡英三片六十四の二十三、電報米五弗三十二の十三、電報米五十四円四の三賣り、五十五円丁度賣ひ

英米濠三國重大會議

【倫敦十五日發】（ロイター電所報）英、米、濠三國代表は本日重大會議をいた結果、太平洋防衛のために三國は如何なる態度に對しても共同して當ることゝなつた

糸生相揚

【東京十七日同盟】濱絲後揚げ引揚一三七四、一三八二、一三八九、一三八九、一三九五

マニラ出帆和蘭汽船

またマニラに引返す

【マニラ十七日同盟】去る十二日マニラを出帆したオランダ汽船チタレンク號他二隻は當局の命令に依りマニラに引返した

◆スペイン西海岸鐵道沿線に暴風襲來進行中の客車三輛鐵橋より墜落、百二十名の死傷者出す

二人草三郎

（三十八）

小堀雄 川倚馥 繪

御行の松（八）

「お八重の奴が、あの人に戀慕ひだなんて……ちえッ桶へ片足突込んでゐる小娘のくせに！もやんちやら可笑しいつたら。ホッホホ。でも、お品はまア何て遲いんだらう——ひよつとして、若しもの事でもあつたら、お八重の奴、どうしてくれよう……」

腑にあやしく眼を据ゑて、冷たい酒を、苦く、お辰が再び呼つた時だつた。

隣子が開いて——

「御新造さま、お待ち遠さまでございました。おやや、まどうなさいました？」

「お品！隨分お前、人を待たせるぢやないか、で、何うしたの？あの人——」

と云つて、廊下に佇む人影へ、お辰、眼を輝かせて聲を彈ませた。

「あらッ、ま、お前さん！何をそんな所へ物珍らし相に、ぼんやり突つ立つてゐるの、この人つたら——いゝ加減人を待たせて置いて」「——」

「あのウ、灯を點けさせませうか、御新造さま」

「いゝからさア——それより散々ばら待たされた罰に、姿今夜は思ひきり介抱して貰ふんだから、その罪な人に——ねえ白藏さん、その位の親切氣はお持ち合はせでござんせうね、オ、苦しい……」

と切なる氣に、わざと彈ずませるお辰の風情ひ。間遊はれてゐるのを承知で、來は來たのだが、思ひも設けぬこの嬢の樣子に、草三郎、度膽を拔かれたかたちでたじろいだ……

「さア、奥樣にたんと、脂をお絞られなさいまし」

ぼんやり廊下に立ち竦んでゐる草三郎の背中がポンとつかれて、部屋の中へよろめき入るや、背後でぴつしやり障子が閉められ、

「ホホホホッ」

とお品の高笑ひ、その笑ひ聲が、廊下を遠ざかりかけた瞬間、むせるやうな——白粉髮油、香料、それに熟柿の呼吸と——ごつちやになつて一時に鼻を衝く酒の、ほひの彈襲に、益々度を失つて、噎せ咳に方途のつかめ草三郎の體がつと蹌踉に引寄せられて、壓迫するやうな彈力のある肉體を、身近に感じてゐた。

「ま、ま、待つておくんなさい——」

「待つたのは、妾の方だわな——さ、その襖に、早速これへ注いでお呉んなさい、よウ思ひきり醉つて、お前さんに介抱させながら今夜こそ、ホッホホ、お前さんの腹の底まで聞かなけりや、妾、承知が出來ないんだから。さア——」

鼻聲でさう云つて、ついと眼の前へつき出される酒洗ひから、飲しく親線を外らして、草三郎、腕を組んだ。そして心を落着けようとして眼を瞑つた。……なんといふ思ひ設けぬことのみ續く夜であつたか白藏が、慥に自分と間違はられたらしく、伊勢屋の寮へ連れて行かれる——

久保田傳之進に似た、汗ばんだ

侍が、その伊勢屋の主人を斬らうとした。そこへ出たのが意外にも、あの狗犬の紋所の深編笠——十二浦の牢を破つた風の夜、婆婆へ暇み出した第一番に、自分を白藏と間違へたのが、抑々あの侍だつめしいやうでもあり、愚しいやうでもあり、へんに不思議な氣持で伊勢屋と同を並べて行くその紋所を見逃る眼の前へ、すうつと駕籠が來て、今度は自分を白藏と間違へて、押し込むやうにその中へ乘せてしまつた……

それが矢張り伊勢屋に關係のある駕籠と知つて、間違はれた儘に此處まで來て見た草三郎ではあつたが、眞逆にこんなことは想像もしてゐなかつた——

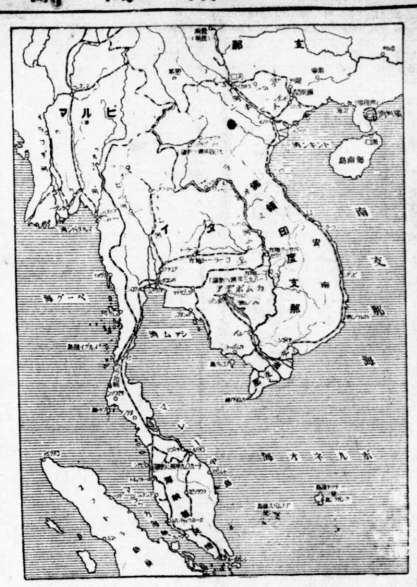
「いつまで、狐にでもつまれたやうに、ぼんやりしてだんまりでゐるのさ！おや、お前さん、けふは乙な襲をしてゐるんだネ、人をこんなに迷はすだけに、お前さん男振りがいゝから、そんなざつかけな風が、又似合ふよ」

がちやんと硝洗を置いて、つんのめるやうな恰好をしてお辰が云つた。

南進日本・怯ゆるは誰？

弱小國泰いぢめに 英・あの手この手

〔バンコック十四日同盟〕泰は佛印紛爭解決に伴なひ、日本の南方に於る經濟機構の增大を恐れる英國は必死の對策を構じ、陸、海、空軍を泰國々境に增強し威嚇態勢を整へつゝあるが、これに對し泰國政府は十三日泰英友好關係は何等毀損されて居らず、英國は兩國不可侵條約を無視すべきである旨の聲明を發して、英側の注意を喚起した



泰・佛印附近略圖

英の軍隊集結 泰政府警告發す

〔曼谷十六日同盟〕英國は泰國々境方面に地上部隊約二万飛行機五十台の大部隊を以て武力的威迫を加へると共に、經濟的には石油その他泰國の必要物資輸出制限乃至禁止を行ふ一方、泰國の特產たる鋼米等の價格を吊り上げて市場攪亂を策するなど、英國の泰に對する態迫は愈愈露骨となりつゝある

慎重を期すべき 軍の政治上への發言

江藤氏・陸相の所信質す

〔東京十七日同盟〕衆議院豫算總會三、國際政治、外務の各部問題に關する質問に對し秋田拓相東條陸相より答弁あり、古田喜三太氏海外神社の增設、海外移住協會其他關係團體の統合に就き質し、秋田拓相研究中なる旨答へ、最後に江藤源九郎氏、陸海軍の政治力擴增に就き問ふた後、陸相の經綸武藤軍務、田中兵務南局長の説明などに關し、軍が政治上の總責をなす際には慎重なるべき事を强調、陸海軍の政治干渉に及ぶ危惧に就き陸相の所信を質し、これに對し、

陸相　陸軍の統制に就いては自分が全責任を持つて

る、隨つて部下の言動に關しては勿論責任を負ふべきであるが、或る間題に就き最後の決定を得るまでに部下と意見を異にする場合、部下の言動が大臣の意に反したるが如き感を抱く事はあり得る事と思ふ、然し一度決定した後は一糸乱れざる統制の下に行動してる、軍は軍の立場から政治に重大の關心を持つもので、これ以上政治干與の如き事は毛頭ない

江藤氏　陸に新閣台同、禁酒禁煙問題に關し、質問、五時三十三分散會

駐滿大使館管下 七ケ所の開館式

〔新京十七日同盟〕駐滿大使館管下の七ケ處の開館式は、左の如き日程に依り、梅津大使代理として三浦參事官及び外相代理として井上庶二郎公使館參事官列席の下に行はれる事となつた

二十四日東安、二十八日琿春、二十一日海拉爾、二十五日綏芬河

山東省内 我部隊の殊勲

〔濟南十六日同盟〕山東省内を討伐中の我部隊は十四日、黄臣附近に侵入せる第八路軍三百を急襲これを壊滅せしめ他の部隊は十一日桑城西方で敵四五百を殲滅した

外務辭令

〔東京十七日同盟〕外務辭令（十七日附）

仲内憲治
領事（バンクーバー）

福島慎太郎
領事（ロスアンゼルス）

任　公使館二等書記官　五等
オーストラリア駐在勤を命ず

同（ロスアンゼルス）

川崎一郎
芬蘭公使館三等書記官

太田日出雄
任　領事（五等）ウラヂオストック在勤を命ず

同（サンフランシスコ）

衆豫議算總院會

〔東京十七日同盟〕衆議院豫算總會（二）衆議院豫算總會は午後一時二十分再開、堀内良平氏佛教各派の統合、思想善導に對する僧侶の動員などに就き質し、一宗一派を原則として統合して行きたいと答へ、次で中山福藏氏、人口問題に就き質したる後、

中山　傳へられる米國、メキシコ間の軍事協定成立の曉、帝國は如何なる態度を採るか

松岡外相　米、メキシコ軍事協定成立の可能性は豫想されるが、その場合、帝國の態度は明瞭を期したい

中山　ラン国は東亞共榮圏に包含される事を指摘し、獨自の立場を呼號してるが外相の所見如何

外相　我々は東亞共榮圏内諸民族に對し指導權を持つものなりとは云はないが、大和民族は指導の能力を有するものと思ふ

中山　日獨伊間で人種平等の主張を聲明にして、今井新道氏外相　御電の趣く達へ、次で、竹井義民氏は東亞共榮圏確立に關し、外相の所信を質し、これに對し

松岡外相は力なき外交は無であると例電の趣く述べた

米メキシコ間軍事協定 帝國の對蘭印態度

中山氏・外相と一問一答

第一回日伊交歡放送 成功裡に終る

〔東京十六日同盟〕イタリアとの文化交換のトップを飾る第一回日伊交換放送は、十八日午前五時十分から約一時間にわたり行はれ、錦音による伊藤信義駐伊大使のイタリア語の挨拶、インデルリー駐日イタリア大使の祝辞に次いで、東京放送管絃樂團演奏の日本音曲を終り、成功裡に第一回放送を終つた

續々と日本へ 西貢米積出さる

〔西貢十六日同盟〕日・佛印經濟會議の結果、佛印米の對日輸出が決つたが、米買ひ附けの大型船、神彩丸（郵船）が十六日朝西貢に入港、活潑な米積込みを開始した、之に續いて二月二十日、日榮丸（日本）二十二日新野丸（川崎）その他が續々入港し、米を內地に運ぶ筈である

KANAKAO S/A
肥料、農具
藥品、ニカワ
カナカオ化學工業株式會社
サンパウロ市テオドロ・サンパイオ街二七七六番
郵函　二一一八六
電話　八・二五八七
支店　イタプラ・デ・ミランダ街一七
電話　六七二七

Dr. Alarico Franco Caiuby
ADVOGADO E
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO
Escritorio: R. José Bonifacio, 233
3.o and. salas 310/312 - Tel. 2-1137
C. P. 1124 São Paulo
法律顧問　法律一般
岸本アラリコ法律事務所
公証人　岸本次男
顧問　アラリコ・フランコ・カユビー
事務所　聖市ヴヨセ・ポニファシオ街二三番
三階三〇—三一二號室
郵函一一二四　電話二一一三七

中古ミシン
新式四カベタ型
一臺あります
御望みの方は
御來社下さい
時報商事部

急募
仕上職人、職工見習
優遇致します。ドミンゴス・デ・モラエス一八〇一
泉洗業舍

急募
ラベドール
ベッサドール
各數名、優遇す
ジョゼ・モンテーロ街二六〇番（プラス區）
チンツラリーア・イデアル

讓店
目下營業中の
アルマゼン
都合に依り讓り度し
一切は御面談の上
アルト・デ・イビランガ區
フレイドウラン街九五番
(Rua Freidurao 95)

急募
バッサドール及び見習各二、三名
右至急雇ひ度し、御希望の方は左記へ御來談の事
チンツラリーヤ
ソールナツセンテ
Alameda Glette, 1018
Tel. 5-4741

急募
洗濯職人見習
三名
三名
至急雇ひ度し、聖市マジョール・セルトーリヨ街一七〇
電話　四—六二九八
ブラヴサ・レプーブリカ近く

CHÁ RIBEIRA PRETO

DR. HEITOR FENICIO
Av. São João 536 6º andar sala 2
Fone 4-1188 — São Paulo
淋病
獨逸治療法ケタリング法を應用すれば如何なる淋病も極速度に完全に治療致します
廉價

女中さん入用
二十才以上の娘さんで充分ブラジル語を解する方、高給支給し優遇す
當方聖市上流家庭、但し聖市に保證人を要す、御希望の方は左記へ
相馬事務所
聖市フェリツペ・デ・オリヴェイラ街二一番
七階五號室　電話　二—七六〇九

正確
迅速
相馬事務所
土地周旋（郊外・奥地）
法律相談、翻譯、通譯、金融投資相談、開化手續、戸籍手帖、其の他諸官廳役所への手續一切
聖市フェリツペ・デ・オリベーラ街二一番
七階五號室　郵函　四四一八
電話　二—七六〇九

邦人唯一の慈善事業
ビラコンセッソン肺療養所
建設喜捨御禮廣告
第二回（自一九四〇年一月至一九四一年二月十日）
一金四コント五百ミルレース也　聖市　カーザ・ブラ拓殿
一金三コントスミルレース也　同　西谷一男殿
一金一コントスミルレース也　同　山本喜重司殿
同　欠田豐次郎殿
同　島崎二郎殿
同　宮腰千葉太殿
ジュケリー　田平榮一殿
聖市　岡崎孝一殿
同　高田透殿
同　北川節也殿
同　破魔商會殿
同　川邊錄一殿
同　乾定太郎殿
同　ミツワ旅館殿
同　櫻井庫藏殿
同　富田孝雄殿
同　野村農場殿
一金三百ミルレース也　郊外ビラボーラ　大川昇殿
聖市　富田勇三殿
同　廣川郁三殿
同　長谷川俊雄殿
同　遠藤常八郎殿
同　河村殿
同　杉山理八殿
同　相川明三郎殿
一金二百二十七ミル也　リンス驛イゲアール　林八三郎殿
一金二百ミルレース也　聖市　大田龍二殿
同　伊藤忠商會殿
同　赤木商會殿
同　末崎峯松殿
郊外アルジヤ　新明正敏殿
同　瀬戸口正左ヱ門殿
同　小笠原千秋殿
同　籠原愛三殿
同　西岡一東殿
一金百五十ミルレース也　聖市　佐藤榮治殿
同　樋口長一殿
リンス驛サンジョン　樋口長一殿扱
郊外アルジヤ　天野衛義殿
同　田村弘殿
同　高津佐之助殿
一金百ミルレース也　松本久米助殿
コングレッソ內　聖市　岡崎淺一殿
同　西中健一殿
同　佐藤初江殿
同　矢部政二殿
同　古賀梅子殿
同　坂上健吉殿
同　加藤周二殿
同　和田義一殿
スザノ驛　水上直喜殿
一金七十ミルレース也　リンス驛カンペストレー　青山清次郎殿
一金六十ミルレース也　リンス驛同　伊藤孝雄殿
一金五十ミルレース也　スザノ驛　柳田周次殿
同　内藤克俊殿
同　名田隈喜熊殿
同　鈴ケ山憲一殿
同　伊吹吉雄殿
アルバーレス・マツシヤード驛　武田
同　サントス　上原直勝殿
モヂ・ダス・クルーゼス　伊藤榮太郎殿
同　聖市　上野正二殿
同　高島正雪殿
同　パール　レオン殿
一金四十六ミルレース也　サンペルナルド　榎下豐藏殿扱
一金三十ミルレース也　パルパライーゾ驛サンジョン　友兼賢三殿
同　杉川松之助殿
同　スザノ驛　山本信男殿
同　和田益三殿
一金二十ミルレース也　同　橋溝一郎殿
一金十五ミルレース也　イタクワケセツーバ驛　松村友一殿
リンス驛カンペストレー　小池直雄殿
一金十ミルレース也　パルパライーゾ　サンジョン　平田芳雄殿
スザノ驛　大島範之殿
同　風間作松殿
同　山本益一殿
同　長谷川格之助殿
同　イタクワケセツーバ驛　大内金次郎殿
同　佐々木光藏殿
同　伊藤虎松殿
同　吉村吉平殿
同　吉村春一殿
同　古野保殿
リンス驛カンペストレー　亀山朝章殿
同　大山甚之助殿
サントアマーロ　安里幸德殿
ビラ・ブルデンテ　多田隈潔殿
スザノ驛　谷川金次郎殿
同　武井信元殿
同　瀧川庄司殿
同　野口豐治殿
同　上前賢殿
一金五ミルレース也　パルパライーゾ驛サンジョン　山澤丈助殿
同　眞鍋泰吉殿
同　眞鍋國勝殿
寺尾茂殿
青木七造殿
同　山本重水殿
同　横山義雄殿
同　青木辰美殿
大田伊三殿
宮崎驚殿
青木典作殿
金子政一殿
谷岡健彌殿
スザノ驛　道井末吉殿
同　原田敏郎殿
同　橋詰勇殿
市川義松殿
谷岡巖殿
山川此吉殿
同　荒谷秀殿
同　内橋六郎殿
同　内橋貞吉殿
金谷清一殿
梅原藤太郎殿
イタクワケセツーバ驛　原元政春殿
リンス驛カンペストレー　花城三郎殿
中村七太郎殿
同　中村檢一殿
同　奥原宗正殿
山内善郎殿
同　平岡忠殿
佐藤慶次郎殿
林善十郎殿
小橋川榮良殿
同　山岡仁太郎殿
猪股清七殿
スザノ驛　野口留之助殿
同　古山善右衛門殿
井上幸雄殿
西野見明殿
梅津兵藏殿
只野儀助殿
松田善八殿
松田忠次殿
溜殿
宅木彦三郎殿
金治繁殿
古畑寛殿
金治實殿
橋本政信殿
名嘉山興清殿
リンス驛カンペストレー　毛利二六殿
一金五百ミルレース也　リンス驛カンペストレー　田村井二郎殿
鳴瞬重雄殿
嘉數三郎殿
河崎武夫殿
清水善八殿
齋藤長七殿
齋藤龜三郎殿
鈴木八郎殿
齋藤源七殿
工藤一太郎殿
尾松榮一殿
天野衛義殿
一金五ミルレース也　リンス驛カンペストレー　花城三郎殿
一金三ミルレース也　同　平岡忠殿
同　佐藤慶次郎殿
同　林善十郎殿
一金二ミルレース也　同　山岡仁太郎殿
同　猪股清七殿
スザノ驛　野口留之助殿
同　古山善右衛門殿
一、果樹苗木十五本　——アルジア——
合計金　二八：〇五五、〇〇〇
内收入　二四：二五五、〇〇〇
右寄捨募集に付御盡力を得たる左記各位（順不同）に謝意を表し候
リンス驛イデアール　林八三郎殿
同　サンジョン　樋口長一殿
カンペストレー　青年會殿
同　スザノ驛（郊外）　水田義一殿
同　上直喜殿
同　梅原藤三郎殿
同　友兼賢三殿
パルパライーゾ驛サンジョン　松村友一殿
イタクワケセツーバ驛　新竹友次殿
アルジヤ　天野明衛殿
同　和田益三殿

父市太郎儀病ねて病氣の處柴石の効無く去る八日自宅に於て死去　九日サント・アンドレー共同墓地へ埋葬致し候間生前時知諸賢に報通知申上候
御葬送の際は御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被下且つ過分の御香料を賜り御厚情誠に有難く幸謝候一々拜趨御禮申上可き筈の處乍略儀以紙上を御禮旁々御挨拶申上候
昭和十六年二月十三日
次男　佐原秀雄
三女　仝　重子
四女　仝　靜江
三男　仝　久雄
遺族總代　青木何人
仝　妻　仝　恒子
他孫六名
友人總代　森三津次
中村雄吉
松原弘動
高野喜平

油虫の驅除
槍、野菜の油虫退治には、最も有効のものは何と云つても硫酸ニコチンであります。
外國製品の輸入の少い今日は內國製のものをお奬めする。
▼硫酸ニコチン　K　四五瓩
半キロ　二五瓩
百瓦　五瓩
▼ニコチン石灰　十キロ入カン四十瓩
キロ　五瓩
時報商事部

第三回棉作會議

ブラスコットも一役買ふ
研究材料を提供

來る廿一、二、三の三日間に亘りバ延長線マリリア市に於て開催される第三回棉作會議には、ゲアルガス大統領はじめバーロス農相、各省大臣がそれゝ臨席、なほ各州棉作代表も參加する事は既報の通りであるが、開催地たるマ市々民は勿論附近在住者一同は個人の研究材料を提供する由である（寫眞はゼツリオ大統領）

農務省の巨頭と棉作界の大物を歓迎時に迎へる事の喜びに今から大騒ぎを演じてゐる、同會議プログラムは棉作組合によつて作製されてゐるが大體第一日は農業問題、第二日は商工業問題に關して會議を開き、第三日は精棉工場棉作實地學習が行はれる、同地方產棉の大部分は邦人の手によつて產出され、特に本年の作柄はこゝ二週間來の好晴續きで歩止りよく完全に經濟し數年來にない豐作を豫想されてゐる折柄、ブラスコットでは同地を中心に三線の調査を行ひ、その作柄の比較研究材料を提供する由である（寫眞はゼツリオ大統領）

風のやうな幻の怪盜
バストスを荒す
被害既に四コントス餘に上る

最近バストス移住地では外出なき怪盜のために農家の留守宅を襲はれ、被害頗多として隣も油斷もならず、除草期とはいへ家は留守にしては仕事も出來ぬといふので移住者は困りぬいてゐるが、何か對策を講じるものと見られる、今まで既に襲つた被害で判明したものだけで四コントス餘りの金品に上つてゐる、その遣り口は非常に巧妙で而も大膽にも出入した形跡を殆ど殘さず、錠が下してあつても家内に忍び込み衆々と仕事をなめ金に取つても明確は解らず、童謡を開けても洋服を着んで後はキチント元通りにして、ビンガを呑んでも空壜は元の位置に置くといふ具合であるので直ぐに犯行が判らず、二三日も立つて始めて氣付くといふ始末、被害を蒙つたものは德永、藤手、藤井、山芝、守越、福永、木原、日數谷、小野、戸田、豊田、林、木下の諸家で、右のうちで最も多いのが金時計で七個、他は現金、其他指環、洋服、オーバ等々である、ところが誰も犯人の姿を見たものがなく、風の如く現れ影の如く消へて行くので、誰いふとなく「幻の怪盜」といつて恐れてゐる

伯國珈琲の極東宣傳監督官
アルバロ氏歸る

伯國珈琲の極東宣傳監督官アルバロ・リベーロ氏は伯國珈琲輸出會の代理人森氏同伴、去る一月廿四日日本を出發ブラジルへ向け歸國の途についた、尙ほ同氏出發に際し、東京駐在ブラジル大使は、同月二十日盛大なる送別會を催した

第五回修養團
一夜講習會

マリリア驛第一昭和棉民地修養團支部に於て第五回修養團一夜講習會を二月九日午後五時より翌十日午前八時迄に亘つて行つた、司會者は上述組市氏、會する男女青年八拾名に達し、講師として聖市の體操家岡田英定氏を招聘し修養講話、心宿訓、起體操等をなし時間柄頗る有意義の會合であつた、岡田氏は七十六

雜記帖

ノロ、ソロ、バ延と三線共に今年の棉は意外の豐作が驚想されてゐる、これで値段さえ良ければとお百姓さん達はあと一ヶ月に迫つた收穫を控えて待機の姿勢である

◇——◇

見少女氣を採んでゐるのが三線の米作者だ、三週間ばかりの高値に拘らず肚者を浸ぐ程の氣を以て黙々と働連を指導したが、これは現在ある生活が如何に眠要なものであるかを家長連も認識し、其の効果は甚大であつた

◇——◇

"棉の都"と呼ばれるマリリア市には、ビッショが禁止されて以來賭博賭博が猛然な勢で流行し、毎晩十ヶ所位で行はれてゐる、中には猶元で毎月の家賃が溜に孕かんで來る者もあると聞いた好晴は棉にはよいが米には惨かつた、米作者は空を仰いで"雨乞ひ"でもしたい氣持である、正に明暗二相といふところ

◇——◇

と悦に入つてゐる者もある

◇——◇

更にサンデモ、カデモ賭ければ事の收まらぬ所と見えて、玉突きにまで五百ミル、一コントと一勝負に賭けるといふから唖然たらざるを得ない、この遊むべき現象は棉々なる形態の現顯を各處に生んでゐるが、其々所の識者の鑑賞をかつてゐる

本年度のミス・タイ
希望は白衣の天使
音樂好きで美聲は近所の評判

盟邦タイ國の一九四一年度のミス參選擧は、愈も翌廿二日、泰國憲法祭のその日人氣をさらつてバンコックに於て（十七ボ）で、クローカン・ナロンノ陸軍中佐の愛娘で、バンコックのヤワナ町に住んでゐる、面白いのは昨年のミスタイもそはヤワナ出身で、この邊りは爺樹美人の產地と見へる

◇——◇

ドウン女學校を卒業、二年間上級のラチニ女學校を卒業した才媛で、彼女の美聲は近所でも評判、音樂、特にマンドリンと歌謡が好きだといふが、今は家事の見習をして居り、將來の彼女の希望は赤十字の篤志看護婦になることだといふ

（寫眞中央はミス・タイ左右二人は何れも二位のお嬢さん）

（日曜）午後五時プールにて遊泳中心臟麻痺を起して急死

野見山稔君
心臟麻痺で急死

日本病院勤務野見山秀中氏の三男稔さん（十五）は一昨日

その日稔さんは日曜だといふので二三の友人と誘ひ合せコンゴニヤ飛行場に遊びでもいふのか家を出る時に野見山氏は「水には入つてはいけない」と稔さんへ特に注意したのだつたが、嬉けるそうな顔さに耐へかねて、多少日射病の氣味があつたらしかつたのを親の禁を破つて友人らと一しよに飛行場下のプールには入つたものである

因に病體は昨日午後五時ごろ死去された

座談會
二日目

開拓先驅懷舊會第二日目は農田線行氏司會者となり、午前十時より開會

司　那入棉作の起因と年產量に技術的方面について盛力さん一つ

藏力哲夫氏　大正三年モッソン植民地が出來次にイグアペが出來たやうに思ふ、私はモッソ一で棉園を守る積りでゐつたが、始めミリオとフェジョンを植え、二年後同地のチレットールの話に「棉を植えて見ろ」と云はれ植えたのが最初でした、それ迄は少しづゝは地方でも植えてゐたでせうが我々同胞が大々的に植えたのは大正九年よりと思ひます、始めは人にも笑はれたりしました大正六年から外人の指導を受けてモノにする事が出來ました、一城四分ノ一作つて四百五十アローバを得た、時に一アローバ七竿五百でしたが、數年後には十竿七百になつたと記憶してゐます、初は虫も出ず結構なものでした、政府の奬勵を受け私は第二モンソンの方に指導に行きました、當時第二モンソンは經濟難に陥入の借金多く困つてゐたが、その年棉が二十竿もしたので皆が樂になりました、個人個人業者の江越技師等が視察して品種害虫驅除など色々研究されましたが、品種としては五六種の中チキサス、エキプレッソとが最も良好となつたのです、ブロッカの豫防には本當に困りました、私は三八年度から棉作をやめてゐます

司　安田さん、ブラジルで米作と云へば安田さんを想ひ出す程に、安田さんは米作の權威者ですが、米作を思ひつかれたのは何年頃ですか、動機は何ですか、セントラル線で安田と云ふ名前は知らない外人は居ない程有名ですが、それについて何か外交の秘訣と云つた體驗談を一つ

安田良一氏　私は米作の一人者でなく失敗者なのです、私は一九〇六年聖市に一年間居りてリオに行きましたが、種子を蒔いたのは一九一二年と思ひます、米作の動機は「日本人であるから」です、「やつて見たいなア」と思つたのが米作だつたのです、内地を出る時「米は食つて行け」外國には米は無いぞ」と云はれて種子だけは持つて來ました、米種だけは十陸後も大事にしてゐました、その年の天候は良でした、持つてゐた太平な米種を少し殘して後は播いて、大根を鹽漬にして皆天長節を祝して食べました、ブラジルでは初めから米は少しづゝは作つてゐましたが、驚した面一杯の種米を時りでして植えたのです、外交の秘訣としては「ブラジルで一生を終る」「子供はブラジル人になり切つてる」そして「ブラジルに感謝する」その氣持でゐてブラジル人と共に働き共に生きて行く、これを頭に置き、死亡や結婚などに呼ばれたら必ず行く、寄附は惜んでやり、サンタ・カーザ、寺院などの公共機關に對しては進んで寄附し又他にも勧めます、自分は何時も外國人だと云ふ事を忘れて話し合ふ、當國官廳でも親切な所無く歓迎でも何でも云ふ、只て私の熱から來る事で、私を知る外人は者理解して喜れる、そして藤永氏　—厭稿提出—

司　藤澤さんはブラジルで醤油醸造業としては第二人目と思ひますが、初めて幾年になります、又現在どれ位醸造してゐます、日本では經驗がありましたか

藤澤豊次郎氏　私は大正八年平野植民地に入り、九年から始めて今年二十三年になります、設備は只今整つた積りです、勤勉に働いくらでも造ります、經驗としては祖先代々醤油醸造業者です

司　山根さんはあらゆる事業に先鞭をつけられた樣だが、

上陸第一歩の日から三十年の懷舊談！（四）

實業リーグ前奏曲
小西對時報
時報慘敗の憂目

辯護士　法學士　木下正夫氏　回答

（問）日本で夫に死別し、渡伯後今の夫の後妻となり二子を儲けました。夫は性格が質素で他人との折合も惡く、夫婦仲とても圓滿未の見込みが無いので双方合議の上別れる事に決めました。離婚の際子供の養育費にと一アルケールの蔗園を無償で譲り受ける事になり、實父立合の上で取り決めましたがその後實行して貰れません。今になつて見ると土地の讓與も一時逃れの便法としか思はれません。解決方法をお教へ下さい（A子）

（答）夫が日本人であつて正式に當國領事館へ結婚届を出して居り、又今度の離婚届も正式に受附られたものであれば、その証明書を以て財產分配の訴訟を提起する事が出來ます

急告

白蘭の歌
東京の女性

名画"東京の女性"を上映致すこゝになりましたので紙上をもつて急告致します。

男の胸を搖がし、女心をほろりとさせる、原節子の技緻、立松晃の胸もすく快演技!!

ここに姉と妹の生活がある、日本映畫の今迄正面から觸れたことのない男性への辛辣な見方や、女性の生涯の危機に於ける新らしい考へ、姉と妹と、そして異性の感情を通じてまざまざと迫つて來る！

下記地常設館上映日時

二月十九日午後七時半より二回
◇アララクアラ市
廿一日午後八時より
◇イビチンガ町
廿二日午後八時より
◇ポルポレーマ町
廿三日午前十時半より
◇タクアリチンガ市
廿五日午後一時より
◇ヂャボチカバール市
廿六日午後七時半より
◇カタンヅーバ市
廿七日午後八時より
◇ノバグラナーダ町
廿八日午後七時半より二回上映
◇リオプレット市
三月三日午後七時半より
◇コリーナ町
四日午後七時半より
◇オリンピア市
五日午後九時より
◇バンツトス市
六日午後八時より
◇グアイラー町
七日午後八時より
◇ミゲロポリス町

主なる配役

君塚節子　原節子
妹水代　江波和子
たき子　水上怜子
バーの女　星ヘタル
木幡好之　立松晃

東寶映畫　南米興行特別提供

むさいぼんん
寫眞館
館主　江口桂秀
サンフピ・ポプガ街

御下宿
中央に近く、閑靜なサラリーマン、學生に社員諸君に最適の御所
ガルボンブエノ街七二三
菅原誠

◇文化住宅
二階建寢室五間
ガス、釜、風呂付
此の外に貸間もあります
一切は來談の上
アルト、ピネーロス
ペドレーロ・モラエス七九一
R. Pedreiro Moraes, 791
Alto Pinheiros

市内販賣員募集
一、市内外人商店販賣員一名
一、定給及び歩合
一、市内に確實なる保證人を要す
右希望者は履歷書持參本人來談の事
ルア、タマンダレー五七五
小笠原太陽堂
電話　七—八一一九

米作者よ。今年の收穫戰には是非一臺お備へあれ
僅か一台十キロ位なれば確實も手軽るに出來、畑形の良し悪しを問わず、一度び耕鋤すれば忽ち畑風と捲き起し、稻リンボ用には最適の逸品である　價格も比較的低廉！　○價格　一台七十弗（運賃を拂ひ）
リンス市
下矢鐵工場

建築、工場、會社、代理店等の電氣設備等設計一切を取扱致します
土橋會計事務所
服部タルヴェラ・マルカレンダ街七三番
午前八時より十時まで　電話　二一九二八九

ムシコロン
作の強敵退治
アブラ虫驅除には
殺虫、殺菌　重奏効
膠質、展着、人畜無害
▲御問ひ合せ大歓迎
試藥用　四五〇瓦罐入
德用罐　十ミロ入
破魔兄弟商會
Rua Paula Souza, 290 - C. Postal 3537
Tel. 4-4601 - São Paulo

買腸に
ヨヒオス
よくきく、のみよい
肝油　ハリバ

ブラスコット對西谷
西谷復讐成る
ブラスコット對西谷の野球試合は、去る土曜午後二時より聖市のエスタディオ球場に於て行はれた、西谷は前日の試合に於て惨敗を嘗めて居り、勝たねばならぬ此の一戰、一方ブラスコットも勝つて"兜の緒を締よ"の戰法を守つてか再勝の氣は全選手に溢れてゐたかくて兩軍の勝敗豫測を許さぬものがあつたが、試合の結果十三對三のコールドゲームとなり、西谷快勝して見事雪辱成つて凱歌を擧げた

リオ州主催
花卉果實共進會
リオ州主催の花卉及び果實共進會は去る十四日ゼツリオ大統領及びリオ州知事政官廳の同共催で開催された、會場には珍貴な熱花、ラン花、果實類など數點以上に多數の出品者あり、外に農務當局より樹々の繁盛の方法などを出品、又果實の內蒸にリオ州で最初に結實採收された樣の實及び苗木の無花果などが人目を惹いてゐる

コチア產組對ブラ拓
コチア產組對ブラ拓戰は一昨日午後二時からカンポ球場で行はれ、此の日兩軍共にエラー多く結局八對一でコチアの快勝となる

リンス市

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H

Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno .... 60$000
„ Semestre ... 30$000
Numero de dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — TERÇA FEIRA 18 de FEVEREIRO de 1941 — DIARIO No 2408

Declarações do ministro Sousa Costa sobre o financiamento da lavoura caféeira

RIO (Pelo telephone) — A proposito do decreto-lei Ontem assignado pelo sr. Presidente da Republica, determinando o financiamento da lavoura caféeira o Ministro da Fazenda sr. Sousa Costa, reuniu hoje, em seu gabinete, os representantes da imprensa fazendo-lhes as seguintes declarações:

"O decreto hoje publicado e pelo qual a Carteira Agricola do Banco do Brasil fica autorizada a fazer, por longo prazo, o financiamento da lavoura caféeira, consubstancia as medidas adoptadas pelo Govêrno da Republica no intuito de tornar mais efficaz e prompta sua assistencia aos cafeicultores auxiliando-os a sahir das presentes difficuldades.

Logo que o problema se apresentou, fez o Govêrno seguir para S. Paulo afim de examinarem «in loco», a situação, o director da Carteira Agricola do Banco do Brasil e o presidente do Departamento Nacional do Café.

Do estudo e verificações procedidos, resultaram, não só a adopção dessas providencias quanto ao café, mas outras não menos importantes, e já tomadas tambem pelo Banco do Brasil, para o financiamento da safra de algodão em condições de perfeito amparo aos productores.

Na parte que se refere á «Warrantagem» do algodão em pluma, o Banco havia estabelecido, anteriormente, a percentagem de adiantamento a 60% das cotações do dia, permittindo que os emprestimos, mediante penhor mercantil fossem realizados pelo prazo de seis mezes, reformaveis por egual periodo, conforme as conveniencias do momento.

Considerando a situação actual, o Banco resolveu elevar para 80% a porcentagem de adiantamento, sobre a base de 45$000 para o typo 5.

No que concerne ao café, a Carteira Agricola não considerará, para o effeito do financiamento, apenas a safra perdente mas, tambem, as futuras, de 1942 e 1943, de modo que não faltará aos productores a garantia necessaria para as operações. O plano éconjugado entre o Banco do Brasil e o Departamento Nacional do Café, em condições de amparar os interesses do agricultor e defender o risco bancario. Estes institutos acertarão entre si as condições que, ulteriormente, serão submettidos á approvação do Ministro da Fazenda nos termos da lei.

A assistencia prestada por estas iniciativas espontaneas do Governo aos lavradores de café e algodão, ao mesmo tempo que garantem o seu patrimonio assegura á economia nacional quanto ao café, a quantidade necessaria aos mercados internacionais, onde os preços se devem manter, em face do accordo de que as que concluimos com os Estados Unidos.

A situação economica está, assim com os horizontes claros, podendo-se prever, não obstante as difficuldades do momento presente um futuro promissor onde todos os interesses e aspirações legitimos estejam assegurados.

O Presidente Getulio Vargas dá, com essas medidas de tão largo alcance economico, uma nova e positiva demonstração da sua attenção permanente aos interesses dos que trabalham pelo engrandecimento do Brasil».

A China está incrementando a cultura da arvore de "tung"

Segundo noticia publicada pela imprensa novaiorquina na ultima semana a plantação de mais 18.000.000 de arvores de «tung» feita ultimamente na provincia chineza de Szechwan, por iniciativa do govêrno deverá vir a causar um apreciavel efeito sobre o mercado mundial de oleos secativos. Tal plantação provavelmente trará o resultado de melhor qualidade e aumentará a capacidade de suprimento.

Presentemente o oleo de oiticica, o oleo de mamona desidratado e outros oleos especiais de semente de linho encontram ótimo mercado nos Estados Unidos principalmente porque o oleo de «tung» da China não tem meios de transporte do interior daquele país para os Estados Unidos pelos canais normais. Não ocorrendo esta circunstancia e aqueles oleos acima referidos tanto quanto o oleo de «tung» produzido nos Estados Unidos e o oleo de «perilla» teriam sua situação afectada.

Com o plantio das 18.000.000 de arvores de tung mencionadas o governo chines elevará o total dessas arvores na provincia de Szechwan para ..... 710.000.000. Cinco fabricas de oleo de tung serão installadas numa tentativa de aumentar a produção a 67.000 toneladas annualmente.

A produção média atual é de 41.000 toneladas por ano.

O Brasil poderá abastecer parte do mundo com fibras nacionais

O presidente da Republica acaba de approvar uma resolução da Comissão de Defesa da Economia Nacional que obriga a todas as fábricas de fiação e tecelagem de juta com fibras similares nacionais estabelecidas no país a coordenar a produção e venda de seus productos para attender ás necessidades do mercado interno mediante fixação de quotas não podendo trabalhar com os seus respectivos teares mais de 48 horas semanais.

A determinação do govêrno federal teve, como era natural ampla repercussão entre os elementos ligados á industria do tecidos. Procurando conhecer a opinião do Sindicato Patronal de Industrias Textis, ouvimos o sr. Octavio Pupo Nogueira secretário geral da entidade.

A ANIAGEM BRASILEIRA E DAS MAIS PERFEITAS DO MUNDO

— Durante muitos anos — informou-nos s. s. — a industria nacional de fabricação de sacaria de juta foi alvo de furiosos ataques. Era acusada de inferir lucros excessivos em detrimento da lavoura; era acoimada de antro de plutocratas e quando vinha á baila a ridicula tese das industrias ficticiais a da juta era invariavelmente tomada como exemplo.

Em dado momento, o «crush» contra esta industria foi tão feroz e tão injusto que escrevi uma série de artigos enfeixados em brochura sob a epigrafe «O progblema da sacaria».

A brochura em questão teve larga circulação no país e no estrangeiro pois que nela era estudado um problema nacional de grande relevancia. Então eu já dizia que tal industria consumidora forçada da juta indiana, viria a ser mais tarde a fomentadora mais eficiente da fibricultura nacional.

E o que está acontecendo neste momento. E se um dia pudermos praticar em grande escala a fibricultura no Brasil deve-o-emos não sómente ás nossas fabricas de tecidos de juta.

O Mundo inteiro fia e tece juta indiana e o Mundo inteiro têm procurado sucedâneos deste textil. Mas em parte alguma se fabrica aniagem tão perfeita como a brasileira em parte alguma a pesquisa dos sucedâneos foi tão profícua como entre nós.

OS ENSAIOS COM FIBRAS NACIONAIS

Desde mais de dois decênios — prossegue s. s. — certas empresas textis especializadas no trabalho forçado com a juta procuram obter em nossa flora uma ou mais fibras que tenham as qualidades intrinsecas do textil indu..

A Companhia Paulista de Anigagens têm gasto verdadeiras fortunas em experiências e o velho Street no seu tempo de fabricante de tecidos de juta gastou outras fortunas em pesquisas.

O saudoso Nestor de Barros lhes seguiu as pegadas e é de justiça por em relevo a obra de Mario Andrá, a quem devemos a denominação de juta brasileira aplicada ao hibiscus.

A Comissão de Defesa da Economia Nacional dirigida até certo tempo por um homem de grande talento e notavel senso economico o meu illustre amigo ministro João Alberto coube a glória de fazer á industria nacional de tecidos de juta a justiça que ela aguardava desde meio século.

Com efeito aquele homem publico compreendeu a importancia desta industria e não sendo tecnico chegou ás conclusões a que eu cheguei antes si quizermos porticar com sucesso a fibricultura no Brasil deveremos recorrer á industria nacional de fabricação de aniagem e sacaria.

E foi por isto que ele lhe deu a incumbência de fazer, os primeiros ensaios com o kenaf e com outras fibras textis brasileiras, encontradiças no mercado.

O assunto foi estudado com notavel critério e a sua execução confiada á competência de técnicos da envergadura de Navarro de Andrade e Garibaldi Dantas.

Mas a comissão não se limitou a obrigar fábricas de tecidos de juta a fazer misturas da juta indiana com outras fibras brasileiras; ela foi mais longe e chamou o alvitre, que me parece muito acertado, de regular a produção de aniagem e sacos sem que as empresas textis especializadas se veem a excessos na luta de concorrência.

O BRASIL PODE ABASTECER PARTE DO MUNDO COM FIBRAS NACIONAIS

— Por isto que os jornais de hoje publicam — prosseguiu — ficam as fábricas de tecidos de juta subordinadas a um regime de quotas de produção e se este regime fosse applicado a outras industrias talvez não tivessemos que lamentar certos excessos de producção e de vendas a preços vis.

Sempre tenho afirmado que, no dia em que o Brasil praticar com inteligencia a fibricultura poderá abastecer parte do mundo com certas fibras racionais que ainda aguardam a sua oportunidade de figurar na primeira plana da nossa vida economica.

Isto só será possivel com o concurso das fabricas de tecidos de juta que são grandes centros experimentais sempre decididamente abertos a todas as iniciativas uteis.

O CAROÁ NA ORDEM DO DIA

— Na Amazonia a tenacidade nipônica já foi coroada de êxito com a producção da juta de qualidades intrinsecas talvez superiores ás da melhor fibra que nos vem da Provincia de Bengala; o caroá está na ordem do dia; existe um trabalho interessante de aproveitamento racional da papoula de São Francisco; o paco-paco ainda não revelou todos os seus egredos e assim o meu vaticinio não peca por exagero.

E isto tudo devido ás nossas fabricas de tecidos de juta, que afinal viram raiar o dia da mais emocionante das reparações» — concluiu o sr. Pupo Nogueira.

REGULANDO O RADIO-AMADORISMO NACIONAL

RIO (Pelo telephone) — O general Mendonça Lima, Ministro da Viação, attendendo ao que solicitou o Conselho de Segurança Nacional sobre as instrucções geraes para a pratica do radio-amadorismo nacional resolveu o seguinte:

Alterar as alineas «a» e «c» do art. 5.º das referidas instrucções baixadas em março de 1939, dando-lhe a seguinte redacção que contém novas exigencias:

a) — Qualidade de brasileiro nato do permissionario e caracter precario da permissão;

b) — obrigação de fornecer ao Departamento dos Correios e Telegraphos e á secção de Segurança Nacional do Ministerio da Viação, quando lhe forem exigidos todos os elementos necessarios á fiscalização, fornecendo-os porém espontaneamente, quando se referirem á existencia de estações clandestinas.

Determinar que sejam tornadas effectivas todas as permissões já concedidas em desaccôrdo com a presente resolução.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

ENTRADA E PERMANENCIA DE ESTRANGEIROS NO TERRITORIO NACIONAL

RIO, (Pelo telephone) — Voltou a reunir-se hoje no Palacio Itamaraty o Conselho de Immigração e Colonização.

O delegado do Serviço de Entrada Permanencia e Sahida de Estrangeiros do Estado do Rio GGrande do Sul transmittiu ao Conselho um relatorio dos trabalhos referentes aos registos feitos no seu Estado.

Até 31 de dezejbro do anno findo foram registados em Porto Alegre, desde que se iniciou o serviço, 11.518 estrangeiro.

Em outras cidades do Estado registaram-se 7.669 e nas zonas rurais 25.162. O numero total de estrangeiros registados no Estado do Rio Grande do Sul foi de 44.302.

O chefe do serviço de registo de estrangeiros de Fortaleza forneceu, tambem um mapa demonstrativo do movimento do Serviço durante o anno de 1940.

Entraram no Estado 946 estrangeiros em caracter permanente e 14 em caracter temporario. Retiraram-se 108 na capital e 199 no interior.

O Ministerio das Relações Exteriores transmittira ao Conselho uma consulta do Consulado do Brasil no Porto sobre a concessão de visto a estrangeiro cégo de um olho. Trata-se de saber se essas pessoas incidiam no impedimento relativo aos cégos a que se refere o art. 144 item I, do decreto n.º 3.010 de 20 de agosto de 1938.?

Essa consulta foi encaminhada ao Departamento Nacional de Saude o qual respondeu que quando o legislador se referiu a cégo teve em mira as pessoas que soffrem de perda de visão.

daquellas que a têm reduzida que estão inhibidas de realizar trabalhos praticados pelos individuos que têm funcções visuaes normaes.

Os cégos de um olho quando possuem visão normal do outro conservam a aptidão exigida para o exercicio da maioria das profissões.

Sobre esse assumpto ficou assentado elaborar-se uma resolução que será submetida na proxima sessão á apreciação do Conselho.

Finalmente discutiram-se em sessão secreta materias attinentes á entrada e permanencia de estrangeiros no territorio nacional.

輸出許可制度

棉花は但し除外

伯國にも八日から實施

去る土曜日聯邦大藏省は輸出許可制に關する法律に累次名しは日公布實施した、之に依ると今後機械類、金屬原料類及び全部及び手毛、皮革にも許可あることを要し、其の顯著なこぶる甚大なものがあらう、

右の許可制は米洲、國住向け品は除外されてゐるから北米合衆國、英領カナダ向けの品目は全然從前通り自由となつてゐる點注目に値する、その目的とする處も目覺ましく來るわけである

許可を要する品目から除外された主な物は棉花、肉類、其他農産物の大部分があり、也等は大體伯國白體として年產額

棉花統計

十五日現在

通關	八、二三三俵	
入荷	一九、三一二〃	
在庫	一、八五〇、四二三〃	

サントス統計

十五日現在		
通關	八、二三三俵	
入荷	一九、三一二〃	
在庫	一、八五〇、四二三〃	

英・青息吐息

一日二億七千萬圓

戰費增大に惱む

ロンドン發同盟 英大藏省は十二月一日から七日まで一週間中の戰費が一日平均一千五百七十三万九千磅（邦貨約二億七千二百万円）に達した旨十日發表した、この數字は今次大戰勃發以來最大のレコードで英國の財政的負擔が幾何數的に增加しつつあることを物語るものであるが、同時にこの發表は目下米國で進行中の大藏省當局フィリップス氏の對英經濟援助要綱に對する政治的考慮も含まれてゐるものと解される

棉花

州統計の示す處によれば今季棉花配布總數は七一九、二〇七俵、昨年六九〇、四一九俵に比し二八、七八八俵の增加となり、四歩一厘强の增加であるが現在までの處天候極めて順調に大增收は略確實と見越されるに至つた、種子配布地域別表の如し（注本年昨年の順位）

カンピナス	六八、七二八俵	
カスカベル	九二、八八四〃	
ピラスヌンガ	一七、三七四同	
タツイー	一八、四七〇同	
イタペチニンガ	一七、七一〇〃	
	二四、九三五同	
	二八、三五八同	
	二〇、六四〇同	
	二六、五五五同	

棉花も略出廻り完了し十二日現在總計附錄か二十九俵、土曜日は略附錄か二十九俵、土曜日は略附錄か二十九俵、土曜日は略附錄か二十九俵、土曜日は略附錄か二十九俵、土曜日は略附錄

	一六、四八六俵	
	三七、三三、六五〇瓩	
	一、三三〇、一六〇俵	
	三、三一〇、三九八瓩	
	一三、九八八俵	
	二、四六六、七三三瓩	

選相場は極めて平凡裡に推移した、買方は四一・半ミル申値を盛んに持續し、賣方は海外市況、國内取引情況に應じ半ミルづゝ申値を時に應じ修正した程度に止まつた、大體新棉出廻狀態如何を待期中の相場で、戰況の大變化なき限り此處當分は大相場は無い込み

經濟欄

珈琲

先週の棉花市況は强調一途を辿つたモレ四級の足取りを見ると一ミルの大幅上騰となつてゐる、一俵賣に六ミルの値上りである、ゾーロ級、リオ味品も略同一足取りであるから、伯國全體としての儲けは實に素晴らしい、强調の原因としては

一、政府の融資政策が決定し非常に手厚い保護を加へることになつたこと

二、最低値段の決定が近く何等かの形式で決定を見る傾向にあること

三、奥地農家が高値見通しで賣になつたこと、殊に政府融資決定でこの傾向が一層顯著になつたこと

四、北米で伯國品割安のため顯著に增收を極めストック大減少を見た

等々昨年九月頃とは全然反對に良いことづくめであり、此の分では今後は一層强調を續けることは先づ斷定して間違ひ無いものと思はれる

棉花統計

棉花も略出廻り完了し十二日現在總計附錄か二十九俵、土曜日は略附錄か二十九俵、土曜日は略附錄

	一六、四八六俵	
	三七、三三、六五〇瓩	
	一、三三〇、一六〇俵	
	三、三一〇、三九八瓩	
	一三、九八八俵	
	二、四六六、七三三瓩	

選相場は極めて平凡裡に推移した、買方は四一・半ミル申値を盛んに持續し、賣方は海外市況、國内取引情況に應じ半ミルづゝ申値を時に應じ修正した程度に止まつた、大體新棉出廻狀態如何を待期中の相場で、戰況の大變化なき限り此處當分は大相場は無い込み

Caixa Postal, 16 — NIKICHI HAGA — Baurú

北パラナ土地分讓!!

少資本で獨立農となれる萬作向きの健康地賣出し開始!

★位置 パラボニータ驛（舊名アルツール・ベルナルデス）より七キロの地點

★地主 有名なジャイメ・カルバーリヨ・デ・オリベーラ氏にて地權は絶對確實

★面積 四千五百アルケーレス

★地質 テーラ・ロツシヤ及びマサツペーにて地味肥沃、珈琲、米、棉、ミーリヨ、小麥パタチンニヤ等の萬作に適す

★地價 最初の申込者壹千アルケーレスに限り、六百餅（二百餅の三年賦）

地權の確實な事と蟻の居ない萬作向きの地味肥沃でしかも絶對の健康地を安い借地料の値段で分讓致します。

★位置 パンデイランテス驛より廿キロ地點にて野村農場の隣接地

★地主 野村農場 元地主 前記と同じジャイメカルバーリヨ・デ・オリベーラ氏

★地質 テーラ・ロツシヤにて地味肥沃、珈琲栽植に最適地

尙ほ珈琲栽培に最も適した肥沃な土地一千二百アルケーレス分讓賣出し。

交通至つて便利にて、朝夕二回乘合自動車の往復あり、植民地内にあるガルヂノポリス市街地には學校ホテル、雜貨店等總べての設備があります。

尙ほパンデイランテス視察の方はガルヂノポリス旅館主ジョゼエ・ガルヂノ氏、及びパラボニータには須山藤太郎氏が御案内致します

是非一度御視察下さい

バウルー市 芳賀仁吉

御照會は左記へ

バウルー代理人 大釜七藏
仝 土田榮四郎
リンス代理人 佐藤由
サンタ・クルース・ド・リオ・パルド代理人 齋藤甚七
成田源之助